

事前課題 一覧 ②

【政令指定都市】

	政令指定都市名	ページ
1	札幌市	1
2	仙台市	2
3	さいたま市	3
4	千葉市	4
5	横浜市	5
6	川崎市	調整中
7	相模原市	6
8	新潟市	7
9	静岡市	8
10	浜松市	9
11	名古屋市	10
12	京都市	11
13	大阪市	12
14	堺市	13
15	神戸市	14
16	岡山市	15
17	広島市	16
18	北九州市	17
19	福岡市	18
20	熊本市	19

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

北海道、札幌市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっての、保健・医療・福祉関係者による協議の場に向けた検討

・

【達成状況】

現在、関係係で検討はしているが、医療・福祉関係者との協議までには至っていない。

【目標2】

・

【達成状況】

・
・
・
・

【目標3】

・

【達成状況】

・
・
・
・

2. 平成31年度の実行方針

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築にあたっての、保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置に向けた検討を実施する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

仙台市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・精神障害者のための地域移行推進連絡会を含めた協議の場の整理と実施

【達成状況】

- ・精神保健福祉審議会を協議の場として位置付けることとして整理した。
- ・従前から実施していた「精神障害者のための地域移行推進連絡会」は継続して実施。地域移行、地域生活支援に携わる実務者のネットワークづくりと支援実践の向上をねらい、事例検討やケースレビューを行った。また、精神科病院と相談支援事業所の連携を深め、個別支援につながることをねらい、相談支援事業所が精神科病院を訪問した

【目標2】

- ・地域移行、地域定着に関わる人材（ピアスタッフを含む）の育成

【達成状況】

- ・（再掲）精神障害者のための地域移行推進連絡会において、事例検討やケースレビューを行った。
- ・医療と福祉の共催研修会（地域移行関連研修会・日本精神科看護協会との共催研修）を実施し、52名参加。先進的に退院支援プログラムを実施している精神科病院の取り組みや地域支援との連携について学んだ。
- ・精神保健福祉総合センターの地域総合支援事業の事例検討やケースレビューに、地域移行支援に携わるピアスタッフに参加。その中で、ピアスタッフの担当するケースの事例検討も行った。

【目標3】

- ・長期入院者に対するアプローチの充実

【達成状況】

- ・精神科病院（1病院・3病棟）において、入院患者を対象とした地域移行普及啓発活動をピアスタッフと精神保健福祉総合センター、病院職員協働で実施した。その結果、個別の退院支援に1名つながった。
- ・（再掲）「精神障害者のための地域移行推進連絡会」の中で、精神科病院と相談支援事業所の連携を深め、個別支援につながるための方法について検討し、相談支援事業所による精神科病院への訪問を実施した。その結果、個別の退院支援に1名つながった。

2. 平成31年度の実行方針

- ・協議の場となる精神保健福祉審議会において、地域包括ケアシステム構築に向けた検討を行う。
- ・地域移行普及啓発活動の継続実施と他病院への展開の検討 など

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

さいたま市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・本市の実情に即した地域包括ケアシステム構築に係る協議

【達成状況】

- ・自立支援協議会 地域生活支援部会において地域包括ケアシステム構築に向けた検討を行った。
- ・平成31年度より「さいたま市精神障害者訪問支援（アウトリーチ）モデル事業」を実施予定であることから、モデル事業実施に向けた検討を行った。

【目標2】

- ・ピアサポーターによる長期入院精神障害者への訪問活動や交流会の実施

【達成状況】

- ・本市においては、ピアサポーターによる精神科病院への訪問を継続的に行っている。
- ・平成30年度は院外での交流会実施に向けた検討を行ったが、課題の整理が必要な部分もあることから引き続き検討を行うこととした。

【目標3】

- ・精神障害者退院促進支援指針の活用状況の把握（必要に応じて改訂）

【達成状況】

- ・本市においては、精神障害者退院促進支援指針を参考に、地域移行支援を活用しての退院促進という流れを想定しているが、地域移行支援の支給決定件数が伸び悩んでいる。
- ・そのため、今年度は委託相談支援事業所による精神科病院への訪問調査（入院者への直接聞き取り）を行うことで、今後の目標設定のためのデータ集積を図ることとした。

2. 平成31年度の実行方針

- ・目標1について
アウトリーチモデル事業を実施することでの新たな課題抽出や実施データ集積・解析を行う。
- ・目標2について
引き続き、院外交渉会など病院訪問にとどまらない活動内容の検討を行う。
- ・目標3について
精神科病院への訪問調査結果データの解析を行い、今後の方針を検討する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

千葉市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・地域移行支援プログラム等入院患者に対する支援を、さらに拡充していく

【達成状況】

- ・専門の分科会（進め隊）を結成し、目標に沿って様々な検討や企画の立案、実施を行った。
 - ・精神科病院、相談支援事業所または地域活動支援センター、訪問看護ステーション、行政から構成する地域移行支援チームを4つ（4病院参加）結成し、各々でプログラム内容を検討のうえ、支援を実施した。
- 『結果』体験談プログラム1回（1病院21人参加）、日中活動体験プログラム2回（2病院9人参加、うち退院者1人）、宿泊体験プログラム1回（1病院1人、ほかに実施直前に中止が1病院1人）。

【目標2】

- ・地域移行支援の取り組みを、市内全域で活性化できるようにする。

【達成状況】

- ・連携会議のもとに、地域移行支援の実働チームとして分科会を3つ（地域移進め隊・広め隊・深め隊）結成し、市内全域の病院、事業所、行政等から合計50人が参加して、テーマに応じて積極的に活動した。
- ・専門の分科会（広め隊）を結成し、目標に沿って様々な検討や企画の立案、実施を行った。
- ・主に地域住民を対象とした研修会を、市内6区のうち5区（予定も含む）で開催した。

【目標3】

- ・ピアサポーターの活用、養成を重点的に行う。

【達成状況】

- ・専門の分科会（深め隊）を結成し、目標に沿って様々な検討や企画の立案、実施を行った。
- ・市内で活躍中のピアサポーター相互の交流や、今後目指す方々に向けた意欲喚起等を目的として、交流会を開催した。（1回目11月開催30人参加、2回目2月開催予定）
- ・今後の養成研修開催も視野に入れた「公開セミナー」を開催（1月）し、28人が受講した。

2. 平成31年度の取組方針

- ・専門の各分科会（進め隊、広め隊、深め隊）による活動をさらに発展させ、実際の地域移行につなげる。
- ・「住まい」に関する問題にも取り組んでいく。
- ・地域資源を活用しながら、地域住民へ向けた広報啓発活動をより活発におこなっていく。
- ・ピアサポーター養成研修、および養成後の人材活用の仕組みづくりについて具体的に取り組んでいく。

（※現時点での予定。詳細は3月に開催する連携会議で議題にあげ、検討する）

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

横浜市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・市自立支援協議会に地域移行・地域定着検討部会(仮称)の設置

【達成状況】

- ・平成30年11月の市自立支援協議会において、部会設置の承認を得た
- ・メンバー選定について、候補者への内諾を得た(医師会関係を除く)
- ・
- ・

【目標2】

- ・密着ADによる先行取組を実施。

【達成状況】

- ・密着ADについては退院支援事例を選定し、実際に退院に向けた取組みを行った
- ・実際に退院支援に入る生活支援センターや関係各課との調整を図る区MSWとの役割が見えた
- ・
- ・

【目標3】

- ・モデル区を選定

【達成状況】

- ・モデル区候補について選定を行った
- ・モデル区へは、近日中より打診予定(H31.1現在)
- ・
- ・

2. 平成31年度取組方針

- ・モデル区(4区予定)において、区自立支援協議会の中に協議の場を設置し、取組みを開始していく
- ・モデル区での取組み内容については、平成32年度設置予定区に向けてフィードバックを行う
- ・
- ・

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

神奈川県 相模原市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・地域移行推進連絡会議・地域支援者研修の開催

【達成状況】

- ・地域移行推進連絡会議を2回開催。今年度より本会議を協議の場とすることを確認し、ピアサポーターの活用や長期入院者に関する事例検討等、地域移行に関する検討を行った。3月に第3回会議を開催予定。
- ・市内精神科病院において支援検討部会を開催し、長期入院者の地域移行について事例検討を行った。
- ・地域の支援者及び庁内職員向けに、地域移行の取組に関する研修を開催した。

【目標2】

- ・地域移行支援ピアサポーターの養成と活動支援

【達成状況】

- ・市内精神科4病院を訪問し、入院患者に向けたメッセージ活動等、ピアサポーターの活用について検討を行った。実際に要請のあった病院はピアサポーターと共に訪問し、具体的な活動について検討を行った。
- ・第2回地域移行支援ピアサポーター養成研修を実施した。

【目標3】

- ・措置入院者の退院後の医療等の継続支援

【達成状況】

- ・「相模原市措置入院者等の退院後支援マニュアル」に基づき、支援同意の得られた者に対し、個別支援を実施している。

2. 平成31年度の取組方針

- ・派遣予定の広域アドバイザーの支援を受け、保健・医療・福祉関係者による協議の場を活用し、長期入院者の退院阻害要因や地域の課題について検討していく。
- ・630調査を基に入院患者の動向を分析し、市外病院に入院中の市民も含め、長期入院者の退院可能性について検討する。
- ・新精神保健資料も活用した包括ケアシステムの構築状況の評価方法を検討する。
- ・社会資源の乏しい地区においては、行政がコーディネーター機能を担い、地域移行を実現していく。
- ・ピアサポーターによる長期入院者を対象とした普及啓発活動を行う。
- ・精神障害者の地域移行関係職員に対する研修を実施する。
- ・措置入院者の退院後の生活に関する個別支援を継続し、退院後支援計画の検討や実施を通して、包括ケアシステムの構築を進める。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

新潟市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ピアサポーター（当事者）の活用

【達成状況】

- ・精神科病院において、病院職員、入院・外来患者を対象に、当事者による体験談発表を開催。
(参加者：4医療機関（4回）で延170名)
- ・区役所において、関係機関職員を対象に、精神疾患に関する講義と当事者による体験談発表を開催。
(参加者：2区役所（2回）で延55名)

【目標2】

- ・関係機関職員を対象とした人材育成と、顔の見える関係づくりを目的として研修会等の開催

【達成状況】

- ・市内の精神科病院やサービス提供事業所等の社会資源見学ツアーを7月に開催。
(参加者：2コースで延64名)
- ・研修会を12月に1回開催。
内容は、①地域移行機能強化病棟について医療機関から概要説明 ②当事者による体験談発表 ③ピアサポーター活用に関する講演 ④グループワークでのケース検討（参加者：90名）

【目標3】

- ・措置入院者等の退院後支援の体制整備

【達成状況】

- ・国ガイドラインを受け、8
- ・措置入院中に病院へ面会に出向き、本人から支援の同意が得られた場合、マニュアルに基づき、支援計画を作成し、退院後の支援体制を調整する。(計画策定：9件（12月末現在）)

2. 平成31年度の実行方針

- ・保健・医療・福祉関係者による協議の場（精神障がい者の地域生活を考える関係機関連絡会運営委員会）の充実。
- ・精神障がい者の地域移行に関する人材育成のための研修会等の実施。
- ・ピアサポーターによる普及啓発事業の促進。
医療機関において当事者の体験談発表の開催、当事者同士の交流会の開催を予定。
- ・措置入院者等の退院後支援の実施。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

静岡市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・医療と福祉の連携によるニューロングステイの防止

【達成状況】

- ・医療、保健、福祉等関係者を対象に、地域にある社会資源の役割や連携について学び、長期入院者の退院後の生活イメージを共有する機会となるよう施設見学ツアーを実施した（参加者129名／2回）。
- ・地域移行に関する病院内研修会を企画、開催した（参加者65名／1回）。

※施設見学ツアーは3月に1回、病院内研修会は2～3月に3回実施する予定。

【目標2】

- ・医療と福祉の横断的・重層的な支援体制の整備

【達成状況】

- ・医療、障害福祉、介護保険分野における相談支援機関の機能（専門性）と役割を理解し、地域課題に対して協働で取り組む体制づくりについて検討する機会となるよう交流講座を開催した（参加者55名／1回）。
- ・平成29年度に実施した「ヘルパー事業所向けアンケート調査」の結果を踏まえ、地域生活支援部会ヘルパー人材確保・養成プロジェクトとの共同作業により、サービス利用者と事業所（ヘルパー）向けの『ホームヘルプ利用（支援）ガイドブック（仮称）』を作成中（平成31年3月完成予定）。

【目標3】

- ・安心できる暮らしを支える人材・ネットワークづくり

【達成状況】

- ・精神障害者家族会の茶話会等に参加した（3団体／3回）。茶話会には、ピアサポーターも参加した。
- ・「精神障害者の住まいの確保と安心できる暮らしの支援」をテーマに、不動産屋に対して聞き取り調査、宅建協会との意見交換会を実施した。

※平成31年3月、宅建協会が主催する実務研修会で講義等を行う予定。

2. 平成31年度の実行方針

- ・精神障害者の地域移行の推進や安心・安定した地域生活を実現するための支援体制の整備・強化に係る課題や手法等については、引き続き静岡市障害者自立支援協議会地域移行支援部会及びワーキンググループにおいて協議し、実践する。

※平成30年度は、地域移行支援部会及びワーキンググループにおいて、上記3つの目標を掲げ、官民協働により取り組んできた。2、3月に開催するワーキンググループで、平成30年度の取り組みについての評価、計画の見直し等を行い、部会で平成31年度の取り組みについて協議する予定。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

浜松市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ピアサポート体制について

【達成状況】

- ・研修会を実施（他圏域の取り組み、ピア2名からリカバリーストーリーを聞く）
- ・意見交換会を2回実施（その内1回は4人の当事者からピアについて意向確認）
- ・
- ・

【目標2】

- ・関係機関との意見交換

【達成状況】

- ・住宅に関して静岡県宅建協会西部支部と4回、アンケートの依頼
- ・基幹相談支援センター（随時）
- ・
- ・

【目標3】

- ・人材育成

【達成状況】

- ・県主催の研修会
- ・医療機関で事例検討会3回
- ・
- ・

2. 平成31年度の実行方針

- ・平成30年度の継続が主
- ・
- ・
- ・

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

名古屋市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・協議の場の設置 年12回

【達成状況】（平成30年12月末現在）

- ・措置入院者の退院後支援計画に関する合議体の開催延回数 82回（平成30年12月末現在）
- ・ブロックでの地域調整会議回数 13回（平成31年1月末現在）
- ・名古屋市精神障害者支援地域調整会議 1回（ " ）
- ・

【目標2】

- ・地域移行支援利用者数（実人数） 80人

【達成状況】

- ・平成29年度の利用実人数は40人であり、今年度（平成30年4月～12月末現在）は62人
- ・医療機関の職員向けに地域移行支援ガイドブックを使用して、説明会・勉強会を実施
- ・地域援助事業者向けに研修会、事例検討会を実施
- ・入院患者に対して、地域移行支援の説明と個別相談会を実施

【目標3】

- ・ピアサポート活用事業利用件数 16件

【達成状況】

- ・上半期の利用件数 3件
- ・10月17日に養成研修を実施し、8名のピアサポーターが新たに登録した
- ・活用に向けて2月15日に体験談発表会を実施予定
- ・

2. 平成31年度の実行方針

- ・医療・保健・福祉の連携を強化するため、引き続き3層構造での取組をすすめる
- ・ピアサポート活用事業、社会資源見学事業を有効的に使い、入院中の患者の意欲喚起を図る
- ・地域援助事業者の育成、スキル向上
- ・他の包括支援システム等との連携
- ・地域住民などへの普及啓発

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

京都市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・地域移行支援サービス利用者数の増加及び退院者数の増加

【達成状況】 ※平成30年12月末時点

- ・地域移行支援サービス利用者数・退院者数は年々増加している。
＜利用者数（うち退院者数）：平成28年度13名（4名）、平成29年度21名（8名）、平成30年度12月末20名（8名） ※協議の場に参加している事業所から把握した情報＞
- ・3病院と連携し退院に向けた院内での会議や患者ミーティング、OTプログラムへの参加、地域の相談機関2箇所による個別相談等を33回実施した（ピアサポーターも随時参加）。支援の結果、入院患者9名が地域移行支援サービスにつながっている。

【目標2】

- ・ピア活動の拡大

【達成状況】 ※平成30年12月末時点

- ・平成24年度以降、登録ピアサポーター数を増やし、現在は10名まで増員を図ることができた。今年度は3月に新規ピアサポーターの養成講座を開催予定。
- ・4病院（平成29年度は3病院）への事業説明とピアサポーターによる体験談発表等の普及啓発を計5回（平成29年度は4回）実施。
- ・地域の関係機関と教育機関等への事業説明とピアサポーターによる体験談発表等の普及啓発を計4回（平成29年度は3回）実施。
- ・3病院と連携し、退院に向けた院内会議や、患者ミーティング・OTプログラムへの参加計33回（平成29年度は21回）実施。

【目標3】

- ・関係機関への普及啓発

【達成状況】 ※平成30年12月末時点

- ・精神科病院及び障害福祉サービス事業所、介護保険関係関連等に向けた関係機関研修を開催予定（2月）
- ・措置入院者等の退院後支援にかかる研修会の開催（医療関係者対象1回、福祉事業所対象1回、行政職員対象2回）。措置入院の運用に関するガイドラインに係る研修会開催。
- ・精神科病院や関係機関、市民向けの講演会、教育機関等での事業説明やピアサポーターによる体験発表の実施。
- ・精神障害者地域移行・定着支援事業のパンフレットを改定し、今年度中に配布予定。

2. 平成31年度取組方針

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて更に協議を深めるために、協議の場の構成員の見直しと、新たな協議の場の設置を進める。
- ・精神障害者の地域移行支援事業を実施する事業所や、協力病院の拡大を目指す。
- ・ピアサポーター養成講座の開催やスキルアップの機会の確保、又継続して活動できる基盤整備（登録方法や活動場所の開拓等）を進める。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

大阪市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・退院に向けた意欲の喚起・地域移行サービスへの繋ぎ

【達成状況】

- ・4月から新たに地域生活移行推進事業（退院意欲の喪失した入院者に対して支援者やピアサポーターが面接や外出支援等を行う）を実施し、入院者の退院意欲を喚起し地域移行支援に繋げている
地域生活移行推進事業：7件（1月末時点） 内、地域移行支援に繋がったケース3件
- ・ピアサポーターによる院内啓発の実施 3病院（7月～2月）

【目標2】

- ・安定した地域生活の基盤づくり

【達成状況】

- ・相談担当職員・関係職員等の研修実施及び技術支援
- ・ピアサポーター養成講座（7～8月、8回コース）、
- ・ピアサポーター交流会実施（6, 8, 10, 11月）
- ・ピアサポーターによる地域交流会（2月実施予定）
- ・ピアサポーターによる市民への啓発実施（5～2月）

【目標3】

- ・関係機関との更なる連携

【達成状況】

- ・医療・保健・福祉関係者による地域包括ケアシステム構築に係る「協議の場」の設置について、市関係部局と連携、協議を実施
- ・大阪府の「地域精神医療体制整備広域コーディネーター」の協力を得ながら、大阪府下の精神科病院と連携
- ・

2. 平成31年度の実行方針

- ・医療・保健・福祉関係者による地域包括ケアシステム構築に係る「協議の場」の設置
- ・退院に向けた意欲喚起・地域移行サービスへの繋ぎ
- ・安定した地域生活の基盤づくり
- ・関係機関との更なる連携

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

大阪府堺市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・ 指定一般相談支援事業所と精神科病院各々の段階に合わせた取組みの検討

【達成状況】

- ・ 指定相談支援事業所や関係機関向けに、地域のボトムアップ（支援意識の向上）を目指した取組みとして当事者の語りを中心とした啓発研修を実施。

【目標2】

- ・ 市及び圏域での協議の場について検討

【達成状況】

- ・ 既存の会議体などを活用できるか、新しく作るのかも含めて庁内調整中。
- ・ 委員構成や協議内容について、他政令都市の状況を確認。

【目標3】

【達成状況】

2. 平成31年度取組方針（案）

- ・ 指定一般相談支援事業所と精神科病院各々の段階に合わせた取組みの検討、実施
- ・ 市及び圏域での協議の場について検討

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

神戸市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

連携の輪を広げる

【達成状況】

- ・地域移行・地域定着推進検討会（2ヶ月に1回）を開催し、病院、事業所などが集まり、地域包括ケアシステムの構築を目指して実務者として現場で感じる事柄の情報交換を行いながら事業の成果を共有し、今後の方向性を検討する中で連携が広がっている。
- ・「地域で暮す 連携の輪を広げよう」をテーマにした2回連続の研修会では、地域での支援を考え顔の見える関係作りをするため、区毎に集めたグループワークを行い、身近な地域での顔の見える関係作りができた。相談支援事業所の参加も多く、地域移行・地域定着に関心を持つ事業所が増えた。
- ・地域移行・地域定着のできる一般相談支援事業所を増やす為、相談支援事業所研修会を年度内に開催予定。

【目標2】

神戸市での強みを活かした地域包括ケアシステムを構築するためにネットワークをつくる

【達成状況】

- ・精神科病院の精神保健福祉相談員を窓口にして病院内での職員研修会を実施し、事業について周知。この場で、登録ピアサポーターから、当事者の思いやピアサポーター活用の有効性の説明も行っている。
- ・検討会は、精神科病院、ピアサポーター、相談支援事業所、地域生活支援センター、基幹相談支援センター、精神科診療所、訪問看護、障害福祉サービス事業所、救護施設、地域活動支援センター、行政等の地域移行・地域定着推進事業に関心のある実務者で構成し課題や成果などを共有してネットワークづくりをしている。

【目標3】

精神障害者の支援ネットワークをつくり、各区での自立支援協議会への合流を目指す

【達成状況】

- ・自立支援協議会へ直接的な合流を精神障害に特化した協議の場として求めるのは難しく、まず各区の実情に合わせた実績作りを念頭に計画を進めている。
- ・精神障害者との関わりの少ない地域の事業所、相談支援事業所へ、精神障害者への対応の理解を求め、相談の受け入れ可能な事業所を増やす取り組みを始めている。

2. 平成31年度の方針

地域移行を担える事業所を増やし、地域の受け皿の強化を行う

1) 28年度末より定期開催の検討会を「地域移行・地域定着推進連絡会」として2か月に1回開催

- ①地域移行に携わっている事業所のサポート ②地域移行を担う新規事業所の開拓 ③ピアサポーター活用の推進 ④病院からの地域移行推進について、「精神障害者を地域で支える会（仮）」の報告を吸い上げながら検討していく。

2) 「精神障害者を地域で支える会（仮）」の新設（区単位を想定）

- ①地域の現場で、精神障害者を支える必要性とその方向について考える ②困難ケースの対応を共有し、解決の方法について考える場とする 事例検討、地域移行・地域定着支援の勉強会などを実施
検討会に参加してきた本事業に積極的に携わっているメンバーをコアメンバーとして会の窓口になってもらい立ち上げをすすめる。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

岡山市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・岡山市障害者自立支援協議会精神保健福祉部会や岡山市精神障害者地域支援対策審議会を、保健・医療・福祉関係者による「協議の場」として明確化し、精神障害者の地域支援について定期的に協議する体制を整備する。

【達成状況】

- ・岡山市障害者自立支援協議会精神保健福祉部会（1回／2ヶ月）、精神保健医療緊急対応連絡会（1回／年）、退院後支援担当者連絡会（2回／年）等を開催したが、現時点では「協議の場」としての明確な位置付けはできていない。（各会での承認を得られていない。）引き続き各協議の場の役割や連携方法について整理していく予定。

【目標2】

- ・措置入院患者等の退院後支援に関する連絡会の開催や、平成29年度に実施した長期入院患者調査の結果をフィードバックするなどにより、医療機関や地域の相談支援事業所等の職員に対して、障害福祉サービスにおける地域移行支援の活用についての普及啓発を行う。

【達成状況】

- ・相談支援事業所に対する研修会を実施し、普及啓発を行なった。（4回／年）
- ・退院後支援担当者連絡会（2回／年）を実施し、医療機関の専門職、地域活動支援センターI型、地域生活支援拠点の相談支援専門員等に対して、退院後支援ガイドラインに基づく調整スキルの向上を図るとともに、地域移行・地域定着支援の活用促進につながった。
- ・平成29年度に実施した長期入院患者調査の結果を病院（病院長・スタッフ）にフィードバックし、こころの健康センター（精神保健福祉センター）が行う地域移行支援の新たな対象者を病院と選定し、個別支援を開始した。それに伴い、医療機関や地域の相談支援事業所との連絡会を定期的（3ヶ月毎）に開催し、地域移行支援の活用について啓発を行なっている。

2. 平成31年度の取組方針

- ・各協議の場の役割や連携方法について整理し、精神障害者にも対応した包括ケアシステムに係る協議体制を整備する。
- ・相談支援事業所対象の研修会（4回／年予定）、退院後支援担当者連絡会（2回／年）を実施し、関係機関のスキル向上・連携を図るとともに、地域移行支援の活用を促進する。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

広島市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置する。

【達成状況】

- ・広島市障害者自立支援協議会に精神障害者地域支援部会として平成30年10月に設置した。
- ・平成30年12月17日に第1回精神障害者地域支援部会を開催した。内容は、協議すべき内容として措置入院者の退院後の継続支援、入院者の地域移行に係る事項、その他精神障害者の地域移行・地域定着支援の推進に関する事項であることを確認し、(1) 広島市における精神障害者の現状についての報告、(2) 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進プロジェクトの進捗についての報告、(3) 広島市精神障害者の退院後支援に関するガイドライン(概要)についての報告、(1)から(3)についての意見交換を行なった。

【目標2】

- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進を図る。

【達成状況】

- ・平成30年4月より、広島市内8区より精神保健福祉相談員(保健師)、市内地域活動支援センターI型4ヶ所を構成員とするプロジェクトを発足。毎月1回(H30.7月豪雨災害により中止月あり)検討を重ねている。
- ・平成31年1月のプロジェクトで、取り組むべき課題と具体的な取組について明らかとなった。

【目標3】

- ・

【達成状況】

- ・

2. 平成31年度の取組方針

- ・協議の場としている広島市障害者自立支援協議会精神障害者地域支援部会を開催し、具体的な協議を進めていく。
- ・(精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築・推進) 広島市8区それぞれにおいて、平成32年度より事業展開ができるよう、区の実情にあわせた事業の企画立案を行う。
- ・依存症等自助グループとの連携強化を図る。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

福岡県 北九州市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・地域移行研修の開催により保健・医療・福祉従事者等、様々な関係者の顔の見える関係づくりと地域包括ケアシステムのイメージの共有

【達成状況】

- ・地域移行研修会を開催し、保健・医療・福祉従事者等の多職種での連携を図り交流の機会とした。
第1回（平成30年7月20日）措置入院者の退院後支援に関する研修会
参加者 137名
第2回（平成30年12月7日）事例提供、実践報告（福岡市の病院における地域移行支援の取り組み）
参加者 78名

【目標2】

- ・地域包括ケアシステムにおけるピアサポーターの活動と活躍の場を知る

【達成状況】

- ・第3回（平成31年2月6日予定）当事者であり、相談支援専門員として活躍する方の講演会

【目標3】

- ・

【達成状況】

- ・
- ・

2. 平成31年度 of 取組方針

- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築における協議の場を設置し、地域の課題を検討する場を整備する。（平成31年度中）
- ・人材育成及びネットワークづくりのため域移行研修会を開催し、保健・医療・福祉従事者等の多職種での連携を図り交流の機会、顔の見える関係づくりをすすめる。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

福 岡 市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・精神障がい者地域移行部会を設置し、支援体制の構築等について協議・検討を進める。

【達成状況】

- ・平成30年4月に「精神障がい者地域移行部会」を設置し、全4回（うち1回は3月予定）開催。部会委員らと、市としての課題の抽出や、目指すべき方向性等について協議・検討を行った。

【目標2】

- ・中核的人材育成のための多職種向け研修会の開催。

【達成状況】

- ・平成31年1月に、各区保健所健康課職員、市内精神科医療機関職員、地域援助事業者（障がい者基幹相談支援センター、訪問看護ステーション、地域活動支援センター）等の多職種向け研修会を開催し、69名の参加があった。
- ・講師をお招きし、「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの取組の推進に向けて」をテーマにご講演いただき、「講演の感想及び日々の業務で課題と感じていること」等について、グループワークを行った。
- ・関係機関職員を対象とした、部会委員等による出前講座を3回実施し、計182人の参加があった。

2. 平成31年度を取組方針

平成31年度を取組方針については、3月開催の「第4回精神障がい者地域移行部会」にて、検討予定。また、必要に応じて関係部会（地域生活支援拠点等整備部会、地域生活移行部会）とも連携していく。

平成30年度 第2回 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築担当者等会議
「事前課題」シート

熊本市

1. 平成30年度の目標とその達成状況

【目標1】

- ・地域移行支援制度の一層の普及・啓発（ポスター・リーフレットの活用、病院研修）

【達成状況】

- ・市内精神科病院に対して、ポスターの院内掲示を進めた。
- ・市内精神科病院および委託相談支援事業所に対して、ポスター掲示後の反応やリーフレットの活用状況に関するアンケート調査を実施し、報告を行った。
- ・ピアサポート活用に関する説明や、ピアサポーター及び活用病院による報告を行った。またピアサポーターを交え、ピアサポートを活用した地域移行支援について意見交換を行った。
- ・

【目標2】

- ・地域相談支援のさらなる活用（地域相談支援を各区1名出す）

【達成状況】

- ・精神科病院と相談支援事業所との連携促進を目的にした研修会を6月、11月に実施した。
- ・区毎における地域移行支援活動の進捗確認と課題の共有、今後の活動について検討を行った。
- ・
- ・

【目標3】

- ・

【達成状況】

- ・
- ・
- ・
- ・

2. 平成31年度の実行方針

- ・地域移行支援に関する全体研修
- ・地域相談支援のマニュアル作成
- ・ピアサポート活動報告・意見交換
- ・相談支援事業所、高齢介護関係機関、他職種との交流 など